

日時：2020年9月30日（水）14：50～16：15

場所：岩国YMCA国際医療福祉専門学校 会議室

出席者：村岡 恒信 認知症予防クラブ 会長

今坂 みどり 岩国市役所健康福祉部健康推進課健康づくり班 主任

江見 享子 岩国YMCA国際医療福祉専門学校 校長

福水 美恵 岩国YMCA国際医療福祉専門学校 特別顧問兼校長補佐

藤中 優子 岩国YMCA国際医療福祉専門学校 保健看護学科 学科長

矢野 結花 岩国YMCA国際医療福祉専門学校 看護学科 学科長

矢野 正博 岩国YMCA国際医療福祉専門学校 事務長

欠席者：安永 彰子 岩国市医療センター医師会病院 看護部長

進行：福水 美恵

書記：矢野 正博

配布資料 1) 2020年度入学生の状況

2) 新型コロナウイルス感染拡大防止 ー非常事態宣言を受けての学校対応ー

報告・審議事項

1. 2020年度入学生の状況・・・別紙

今年度より看護学科の定員変更を行った。

入学生状況については、藤中・矢野（結）より別紙資料について説明をした。

・保健看護学科は、定員40名で入学生は40名。

今年度は男子学生が7名と多い。社会人経験者は3名で高校新卒が主である。岩国市内出身が10名いる。

・看護学科は、定員25名で入学生は26名。

社会人経験者7名である。広島方面から4名が入学した。

2. 新型コロナウイルス感染拡大防止非常事態宣言を受けての学校の対応・・・別紙

感染症対策について、江見より別紙資料について説明をした。

・4月13日に4月14日からの休校を決定。保健看護学科4年生は5月17日までとした。学生の自宅でのパソコン・Wi-Fi等の学習環境の調査を実施。

・5月に入り遠隔授業を開始するにあたり有識者による教員研修を行い、その後オンデマンドによる遠隔授業を実施。今回はスマホを活用しての受講が多かった。効果的な遠隔授業を行うには、パソコンやタブレット・Wi-Fi等学生個々の環境整備が必要である。

・感染予防の具体的な対策として、教室は体育館や601教室（収容人数80名）の学生間の距離の確保が出来る広いスペースを使用。また従来の教員室を2階と7階に移動、アクリル板の

設置等について報告した。

- ・学校行事は中止や延期の措置を行った。

意見1) オンライン授業での困難な点は、お互いの表情や反応等が読みとりにくい。学生間のコミュニケーションの機会が少なくなる。

2) 岩国市内の小中学校は生徒全員にパソコンが貸与される。専門学校の学生のICT環境を整えるための助成にも協力してほしい。

3. 臨地実習受け入れの状況

学生は、アルバイトの禁止・1日3回の検温・実習前2週間の行動・山口県や広島県外への外出自粛等の対策を行い実習に臨んでいる。

保健看護学科は、主な実習施設の1施設が受け入れてもらえなかった。実習時間を減らして他の施設で受け入れてもらっている。減らした実習は学内演習で対応している。

看護学科は、主な実習施設が柳井エリアで予定通り受け入れてもらっている。小児看護学実習は一部断られた。母性に関係する個人病院での実習は出来ていない。

学校から感染者が発生しないよう出来る限りの対策で予防に努めている。

質問) 学生は登校時に検温をしているか？

→ 電子体温計を個人持ちとし、登校時と昼・夕方の1日3回検温と体調チェックを行い、健康管理表に記録し異常時には報告してもらっている。

4. 今後の看護教育の新たな取り組みについて

2022年度よりカリキュラム改正が行われるので準備中である。

実習の時間換算が1時間=45分となり大学と同様になる。→学校の特色を踏まえたカリキュラムを編成。

また、今後はオンライン授業や災害時の対応についても検討する。

5. その他

- ・保健師と看護師の国家資格合格率を高めることを目標に指導を進めていく。
- ・学校祭をはじめ多くの学校行事が中止となり、学生の思い出作りが極端に少なくなっている。学生間のコミュニケーションについても配慮が必要である。
- ・10月1日より入学願書受付開始である。最近は遠方からの出願が減少する傾向がある。

以上